

令和5年度 宮城県発達障害者支援センター運営事業

アセスメント技術を高める研修会 開催要項

1 趣旨

発達障害は年齢や環境により目立つ特性も異なるため、一つの機関だけで支援を行うことは困難とされています。多くの機関や職種が関わるようなネットワーク支援においては、現在の支援課題と関係機関の役割を明確にするようなアセスメントが重要です。

この研修は、多職種連携の基盤とも言える生物・心理・社会モデル(BPS モデル)について学ぶとともに、地域で開催される事例検討会やケース会議・サービス調整会議など、包括的なチーム形成の一助になることを目指し実施するものです。

2 主催 宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」

3 日時および会場

	日時	会場
基礎編	令和5年8月30日(水) 14時30分から17時まで	オンライン(Zoom)
実践編	令和5年10月13日(金) 10時から16時30分まで	日立システムズホール仙台 3F エッグホール 仙台市青葉区旭ヶ丘 3 丁目 27-5

4 内容 ※基礎編のみ、実践編のみの受講も可能です。

	内容	講師
基礎編	講義・グループワーク ①アセスメントに必要な基礎知識 ②アセスメントのまとめ方	宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」 心理相談員 渡邊 裕美 氏
実践編	講義 「生物・心理・社会モデル」 グループワーク ケースレポート、ケース検討会 ※事前課題あり	大正大学 名誉教授 近藤 直司 氏

5 対象者及び定員

	対象者	定員
基礎編	①宮城県内において発達障害児者支援に携わる方	50名
実践編	①宮城県内において発達障害児者支援に携わる方 ②受講者自身が関わったことのある事例(発達障害)を 取り上げて事前課題に取り組み、研修会当日にケースを レポートできる方	30名

6 参加費 無料

7 プログラム:

基礎編【令和5年8月30日(水)】

時間	内容
14:00~	受付開始
14:30~	開会、オリエンテーション
14:35	講義・グループワーク
	①アセスメントに必要な基礎知識
	②アセスメントのまとめ方
~17:00	事務連絡、閉会

実践編【令和5年10月13日(金)】

時間	内容
9:40~	受付開始
10:00~	開会、オリエンテーション
10:05~	講義「生物・心理・社会モデル」
~12:30	個人演習、グループ演習(ケースレポート)
12:30~13:30	昼食休憩
13:30~	講義「ケース検討会の進め方」
~16:00	グループ演習(ケース検討会)
16:00~	質疑応答
~16:30	事務連絡、閉会

8 申込方法 別紙申込用紙にて e-mail での受付となります。

[締切り] 基礎編 令和5年8月17日(木)17時

実践編 令和5年9月7日(木)17時

9 受講に際しての留意点

- ・基礎編のみ、実践編のみの受講も可能です。実践編の受講を希望される場合には、事前課題に取り組みやすいよう、基礎編も併せて受講されることをお勧めいたします。
- ・基礎編を受講する場合、端末の性能やインターネット接続回線(Wi-Fi 電波が弱いなど)によっては、正常に参加できない場合がありますので、必ず事前にご確認ください。受講者1名につき1台のカメラ付き端末を使用させていただきますようお願いいたします(カメラ機能がない端末での受講はお断りいたします)。
- ・実践編を受講する場合は、受講者自身が関わったことのある事例(発達障害)を取り上げ、事前課題に取り組み、提出していただきます。また、研修会当日はケースをレポートしていただきます。事前課題の詳細については、受講決定の際に通知いたします。